

試験区分	一般選抜	○	科目	小論文	<table><tr><td colspan="6">受験番号</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	受験番号											
	受験番号																
	現職教員選抜	○	対象	教職大学院全プログラム共通													
	外国人留学生等選抜	○															
派遣教員選抜	✕																
特別選抜	✕																

問題Ⅰ

「持続可能な社会の創り手」の育成は学校教育における重要な課題のひとつとなっている。

問 1 「持続可能な社会の創り手」に必要とされる資質・能力はどのようなものであろうか、それが必要とされる理由とともに日本語で答えよ。

問 2 そうした資質・能力を育むために学校教育においては、どのような教育活動を展開するべきであろうか。校種等（たとえば、小学校低学年など）を限定した上で日本語で論述せよ。

【解答欄】

〈出題意図〉

学習指導要領の記述に見られるように、持続可能性の問題は将来社会を担う子どもたちにとっても最も重要な課題となる。この問題に対処するために必要となる資質・能力をどのようにして子どもたちに身に付けさせていくのかを考えることは、今日の学校教育を担う者の責務となる。持続可能性概念は高度に抽象的であるため、日々の教育実践においてそれを教えていくための方法は無数にあり、各教員が置かれている環境・条件に応じて多様でありうる。それ故に状況に応じて教育実践を具体的に組み立てていく際の考え方や方針を、教科等の境界線を越える視野を持ちつつ、自ら構想できることが求められる。この問題は、そうした持続可能な社会へ向けた教員の教育観を問うものである。

〈解答のポイント〉

問 1

- ・持続可能な社会のイメージからその実現のために必要と考えられる資質・能力を理解できていること。
- ・持続可能な社会を実現するためには、複雑な現象を俯瞰し教科の枠組みを越えて課題を総合的に理解するための知識や技能を身に付けているだけでなく、現在の社会のあり方を批判的に捉え直す思考力やよりよい社会のあり方を模索し実現しようとする意欲も必要とされることを示せていること。

問 2

- ・設定した年齢層の発達段階を踏まえて、上記の要件を満たすように教育活動の構想を論理的に説明できていること。

試験区分	一般選抜	○
	現職教員選抜	○
	外国人留学生等選抜	○
	派遣教員選抜	✕
	特別選抜	✕

科目	小論文
対象	教職大学院全プログラム共通

受験番号					

問題Ⅱ

近年, 性犯罪・性暴力の問題, 性的マイノリティを取り巻く状況など, 性に関する指導の重要性が増している。これら性に関する指導では, 問題発生時の対応だけではなく, 問題発生を未然に防止するための指導も大切となる。

問 1 学校・園として性に関する指導や取組を行う際の留意点を日本語で説明せよ。

問 2 現場で発生しうる問題を具体的に設定し, その問題を未然に防止するための指導や取組の概要と設定理由を日本語で述べよ。

【解答欄】

〈出題の意図〉

性に関する指導について, 学校・園全体で取り組むことを前提として, 指導や取組における留意点を把握した上で, 具体的な問題を未然に防止するための指導を検討できているかを問うものである。

〈解答のポイント〉

問 1

- 以下のような留意点について述べられていること
- ・子どもが加害者・被害者・傍観者にならないための教育と啓発を行うこと
 - ・子どもの性に関する認識や個人差, 多様な背景に配慮すること
 - ・固定的な意識を植え付けることがないように注意すること
 - ・発達段階を踏まえたねらいと取組を検討すること
 - ・学校全体で共通理解を図り, 取組を進めること
 - ・家庭との連携を図り, 保護者の理解を得ること
 - ・集団指導と個別指導の内容を区別しておくこと

問 2

問 1 の留意点に即して, 指導や取組の設定理由と, それに沿った内容が考えられていること